

11月7日(月)

## 本物を見抜いて行動する

聖書朗読 ヨハネ6:30~40

そこで、イエスは言われた。「わたしはさばきのためにこの世に来ました。それは、目の見えない者が見えるようになり、見える者が盲目となるためです。」”

ヨハネ 9:39

たまたま鏡を見たら、探しているメガネを頭の上にかけていることに気が付いたという経験がある方でしたら、今日のストーリーを楽しんでいただけたと思います。イエス様が少年の小さなお昼ご飯を持ってして5千人に食事をさせた場面です。そういう時でもイエス様を批判的に見る人たちは「もしあなたがモーセのような預言者なら、天から下ったパンで私たちに食事をさせたはずだ。」と言っています。

メガネを置いたであろうあらゆる場所を探しながら最も重要な場所を見逃してしまうように、イエス様の批評家たちは今までのパターンにこだわりすぎて大切なしを見逃してしまいました。イエス様こそが命のパンであり、天から下った方だったので。

彼らが明らかなしを見逃してしまった理由の一つは、イエス様をただの大工の息子だと思っていたことでした。知っていることに縛られてしまい、頭の上にかけてあるメガネを見逃すように、自分の目の前のメシアを見逃してしまいました。私たちもそうではありませんか。もしかして、教会の複雑な問題にばかり目が行ってしまって、助けが必要な兄弟姉妹の小さな問題を見逃していませんか。自分の身の回りで私たちの愛が必要な人たちがいるのに、愛を注ぐ場所を探していませんか。

讃美歌 讃美歌 21 425

祈り アバ父よ。私たちの目を開けて、貧しい人子どもたち、助けを必要としている人たちにイエス様を見ることができるようにならせてください。イエス様のお名前でお祈りいたします。アーメン。

## 今日の日

2022年11月7日~11月13日

翻訳 ハンコック・真由美  
(コールドスプリングスキリストの教会)

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月8日(火)

## 父親を選ぶ

聖書朗読 ヨハネ8:42~47

こういうわけで、私はひざをかがめて、天上と地上で家族とよばれるすべてのものの名の前である父の前に祈ります。  
エペソ3:14

「親は選べない」と言われます。私自身も若く反抗的だった頃、自分で親を選べたらいいのと思っていました。感謝なことに成長し、年をとるに連れ、自分を知るようになり、考え方も変わってきました。そして、父親への尊敬と愛は全く違うレベルにまで深まってきました。

イエス様は、宗教指導者たちと真の子どもたちを明確に区別していました。宗教指導者たちは、アブラハムに繋がる子孫たちではありましたが、彼らの行動は神様の子どもとはかけ離れたものでした。むしろ、サタンに従者のように心が頑なで偏見を持ち、高慢でした。もし、あなたが本当に天のお父様を知っていたなら、天のお父様とのあなたの関係が行動でも示されるはずです。

結局、行動 思考 意図から私たちが実際にどういう関係をもっているのかが証されます。真実はこうです。私たちの真の父は、私たちが見習い従うことを喜んでくださるお方です。そして、すばらしいことに、私たちにそのお方に従っていくか、行かないかの選択権があるという事です。

讃美歌 こどもさんびか ひかり、ひかり

祈り 親愛なる主よ。神様の御顔をいつも見上げさせてください。そこから神様が私たちに抱いている限りのない愛を見させてください。私たちが他の人を愛して神様の愛を投影する者とさせてください。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

ランディ・ロバーツ

ニューメキシコ州 グランツ

11月9日(水)

## ただの道德の先生ではない

聖書朗読 ヨハネ8:48~59

まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです。  
ヨハネ8:58

イエス様は日和見主義者\*をよく思いませんでした。「あなたは自分を誰だと思っているのですか。」という質問も何度も受けました。このように堂々とお答えになられたのは一度ではありません。「わたしと父とは一つです。」(ヨハネ10:30) それを受け入れて従った人もいましたし、イエス様を殺そうと企んだ人もいました。現代でイエス様を疑う人々はもっと明確に言っています。「イエスは良い道德の先生だった。ブッダや孔子のように。」\*自分に都合の良い方へつこうと、形勢をうかがう態度をとること。

C.S.ルイスはこういう目線のアプローチの間違いを述べています。イエス様が偉大な道德の教師であるというようなことは、当時の人々は全く思っていなかったのです。人々は、あたかもポーチドエッグ\*が自分に合うトーストを探す如くに、自分が聴きたいことを話す偽教師を求めていたのです。民衆は度々耳障りの良いことを話す偽教師に従って行きました。しかし、イエス様と出会った人々がイエス様を偉大な道德の先生と感じたことは一度もないのです。イエス様と出会って人々が感じたことは、以下の三つです。イエス様に会い、イエス様を憎んだか、イエス様に恐怖を覚えたか、または、イエス様を神と信じて崇拜したかです。\*落とし卵

イエス様が人々に求めたのは、どっちつかずのポジションではありませんでした。イエス様は、神の子であることを信じますか、それとも信じませんかということの人々に求めたのです。私たちにあって、イエス様はアブラハムの前におられた方であり、肉体となられた言葉であり、私たちのうちに住んでおられる方なのです。

讃美歌 162

祈り 親愛なる神よ。神様の豊かさが留まることを喜び、バプテスマによって私を新しくし、今は聖霊として私のうちに住まう方をたたえ、崇拜させてください。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

デレル・ティペンズ

テキサス州 アビリン

11月10日(木)

## 泥棒と強盗！

盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。  
わたしが来たのは、羊たちがいのちを得、またそれを豊かに持つためです。  
ヨハネ10：10

孫たちとあらゆる面で関われるのは嬉しいことです。上の4人の孫の運転手を引き受けています。4つの学校、3つのダンスレッスン、3つのバンドの練習、演劇の練習、酪農クラスの送迎をしています。孫たちの生活はやる事に満ち溢れています。

イエス様は人生には泥棒がいると思ひ出させてくださっています。私たちの人生において、様々なこと、行事、人々は、時として私たちの大切なものを盗もうとします。私たちは、人生に欠かせないものを盗まれるという危機に瀕しています。忙しいスケジュール、物的なものを追い求めること、プレッシャー、人間関係などは、実際は私たちから本当の人生を盗んでいるのです。しかし、時としてそれらは、私たちがある物を手に入れたような思い違いをさせます。

私たち全員の家の玄関の外には泥棒がいるのです。イエス様だけが信仰と希望と喜びと愛と永遠の命で満ちた真に豊かな人生を与えてくれます。それこそが豊かな人生なのです。

神が見つけれられるのは、「今」だけ。  
彼の名前は、まさに「今」である。  
「わたしはある」であり、「この後もわたしはある」のである。

ジョージ・F・マクロード

讃美歌 495

祈り 私たちの親愛なる天のお父様。あなた様が今と将来のために豊かに用意してくださった真の人生が盗まれることのないようにお守りください。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン  
ネバダ州 カーソンシティ

11月11日(金)

## 泣かないで

聖書朗読 ヨハネ11：38～44  
主は私の切なる願いを聞かれた。主は私の祈りを受け入れられる。  
詩篇6：9

「泣かないで。」私たちはこの言葉を簡単に使います。おもちゃが壊れた時、心が壊れた時にこう言います。「泣かないで。大丈夫。立ち直れるから。」子猫が死んでしまった時、おばあちゃんが死んでしまった時、こう言います。「泣かないで。時間が癒してくれるから。」

「イエスはまたも心のうちに憤りを覚えながら、墓に来られた。」というところを読むまで、「泣かないで。」と言ひそうでした。その時イエス様は泣きそうでしたか。泣きそうでした。石で閉じられた墓の脇にマルタとマリアは立っていました。イエス様は涙を流されたのです。イエス様はラザロを生き返らせるとわかっていましたが、笑顔で「泣かないで。大丈夫だよ。」とは言ひませんでした。その墓でイエスは家族関係を壊す敵と対峙しました。イエスはこの二人に姉妹と悲しみと涙を分かち合いました。死、喪失、別れは、辛く本当に痛みが伴いました。いるはずのラザロはいませんでしたから。

イエスはよみがえりであり、命です。イエス様は力を持っていましたが、柔らかさを持っていました。正直な気持ちで涙を流しますが、絶望ではありません。それは希望に満ちています。なぜなら、涙を流すイエス様は、その涙を勝利をもって墓から玉座に引き上げてくれるからです。この王は今でも姉妹や兄弟と共に涙を流しつつ、私たちをよみがえりへと目を向けさせてくださっているのです。

讃美歌 405

祈り 親愛なる主よ。イエス様がよみがえりであるとはっきりとした確信を持って「泣く者と共に泣く」心構えができますように助けてください。イエス様のお名前です。アーメン。

エルマー・プラウト  
カルフォルニア州 デイビス

11月12日(土)

## 高価な香油

聖書朗読 ヨハネ 12:1~11

ですから、愛されている子どもらしく、神にならうものとなりなさい。また、愛のうちに歩みなさい。キリストもあなたがたを愛して、私たちのために、ご自身を神へのささげ物、また供え物とし、香ばしいかおりをお捧げになりました。

エペソ 5:1~2

イエス様と長い時間を過ごした2人が こうも違うのは一体どうしたことなのでしょう。ラザロの姉妹であるマリヤと弟子の一人のユダの行動を見て、イエス様も同じように思ったかもしれません。

ある日の夕方、ベタニアのある家ではイエス様のために夕食を用意していました。そこには弟子たちの幾人かもしました。マリヤは、イエス様を愛し、信じる、優しい人でした。マリヤは高価な油をイエス様の足に塗り、自分の献身の姿勢を表しました。マリヤは、自分がイエス様にできる最上のことをしたのです。対照的に、ユダはこれを見て 呆れ返り 全く無駄なことだとし、なぜこの愚かな女は一年分の収入に値する高価な物をイエスのために無駄にするのかと思いました。マリヤとユダのイエス様に対する思いは 全く違っています!

ユダはイエス様と何百時間も一緒に過ごし、多くの奇跡を目の前で見してきました。それなのに、なぜイエス様に背いてしまったのでしょうか。私たちはこのことを信じ難いと思ってしまうのですが、現代においても、誘惑によってたくさんの人の信仰が主であるイエス様から離れてしまっています。マリヤは良いお手本です。自分のある限りの愛をイエス様にお見せするのを厭わない、信仰深く主に仕える者であり続けました。今日、私たちもどんな犠牲を払ってでも持てる全てのものをイエス様に献げましょう。

讃美歌 270

祈り 天のお父様。クリスチャン生活の中で何度も失敗してしまうのにもかかわらず、あなたが示してくださる愛をありがとうございます。この世の誘惑に打ち勝つ強さをください。あなたにお仕えするために何ができるのかを見抜く洞察力をください。イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェイン・ポー・マッシー  
テキサス州 ヒューストン

11月13日(日)

## どういうイエスを崇めているのか

聖書朗読 ヨハネ 12:20~36

わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。  
ヨハネ 12:32

群衆を引きつけるのは割と簡単です。強いチームを見に来る群衆。バーゲンセールに集まる群衆。すぐに集まりますが、集めた状態をキープするのは難しいことです。チームがあまりにも負けていると、群衆は帰ってしまいます。割引セールが終了すると群衆はお店を去ります。イエス様の周りの群衆も似たようなものでした。

イスラエルの民は、負け続けるのにうんざりしていました。バビロン、ペルシャ、ギリシャ…。イエス様はローマ帝国を打ち破ってくれるような人に見えました。誰もがそれを見たいと思っていたのです! たくさんの奇跡、癒し、5千人を超える人々に食べ物を与えたこと、イエス様の周りではいい事ばかりが起こっていたのです。魅力的で人々に崇められるイエス様というのは、私たちが欲しい物をくださり、私たちが聞きたいことを話し、私たちとあまり変わらない感じの人です。そういうイエス様は人気があります。それは真実の姿ではありません。

イエス様は、自分を上げられるお方です。「もしわたしが上げられれば、全ての人を自分のところに引き寄せます。」イエス様が言われた「上げられる」という言葉は、十字架に「上げられる」という隠された意味があります。それは、勝利とはかけ離れたもので、何の得にもなりません。しかし、それは最も偉大な勝利であり、最高のものになっています。自分が望むものを与えてくれる神様としてではなく、命を私たちのために与えてくださる方としてイエス様を見る時、去ってしまった群衆とは違う人に変えられるでしょう。

讃美歌 136

祈り 親愛なる神様。私たちは、ともすると自分たちに似たような救い主の神様を周りの人に紹介してしまうことがあります。他の人たちが見てイエス様に似たものになりたいと思うような「上げられたキリスト様」にもっと近づくことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

デイビッド・ラングフォード  
テキサス州 ラボック